

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的や意図に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、目的に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめたりする力がついている。
- 日常よく使われる敬語を理解することができている。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある

【算 数】

- () を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取る力がついている。
- 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる力がついている。
- 図形領域や加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることに課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 地域や社会に貢献したいという思いや、将来の夢、目標をもっている児童が多い。
- 友達関係に満足し、学校生活を楽しいと感じている児童や、困った時や不安な時にいつでも先生に相談でき、安心して学校生活をおくることができている。
- 正しい生活習慣が身につけていない児童、自分のよさに気付くことができていない児童が多い。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の習熟度別分割授業の実施
- ・補充学習（担外教師による給食準備時間の指導）
- ・定着が不十分だった内容の重点指導

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・授業チェックリストを活用した授業改善（導入の工夫）
- ・重点単元における学年習熟度別学習の実施（指導方法工夫改善教員の効果的配置）
- ・ICTを活用した個別学習の充実
- ・モジュールタイムを活用した基礎基本の定着を図る学習

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・地域教材を活用した学習指導
- ・日々の学級指導や行事等で個々の目標を持たせたり、短期目標を持たせたりする指導

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・児童が主体となって行う集会活動の実施
- ・通信や集会等を用いた家庭との連携・協力体制の強化